

三陸地域における 地域子育て支援事業

一般社団法人 トナリノ

【目次】

- | | | |
|---|-------------|----|
| ① | 助成事業の目標 | P2 |
| ② | 実施内容 | P3 |
| ③ | 得られた成果 | P5 |
| ④ | 残された課題とその原因 | P7 |
| ⑤ | 今後の対策 | P8 |

ビジョン

地域課題の解決に**住民自らが**挑戦している状態

- ① 子育て中の親子が、いつでも気軽に安心して過ごせる場を手に入れることで、**育児の孤立を防ぐ**。子どもを育てる環境を一緒に考える仲間ができることで、1人で悩むことがなくなる。また、**子どものやりたいを実現できる収入基盤**がある。
- ② 子どもが進路を考える際に選択肢が広がり、**学校で教わらないことにも興味**が湧くようになり、自ら夢と未来を拓き、社会を創造する人になる。

1年目の目標

『高校生以下の子どもとその親の交流会実施』

① 親育て活動

子育てをする親への学びと相談機会提供、および短時間就労や就労に関わるセミナー等の機会提供がされている。

② 子育て活動

多様な生き方と地域への愛着と可能性を知る機会提供、大学生や社会人との交流会の実施。

他団体連携で重視していること

- ① 目標と目的を明確に
- ② 最初はやる気のある人数名で始める
- ③ 人とつながる機会に積極的に参加
- ④ 取り組んだ成果の発信
- ⑤ 得られた知識の共有と還元

その上で持続可能な体制作りを並行して行う。
財源・人材・活動拠点 etc...

重視しているが、努力の最中…！

③得られた成果

- アウトプット：出力 ※活動回数や参加人数
- アウトカム：成果 ※社会に与えた影響

年間目標達成度 **順調!**
・勉強会10回のところ7回実施。

① 親育て活動

- 月一回の交流会で**育児の孤立を防ぐ。**

子育て中の親子が、いつでも気軽に安心して過ごせる場を手に入れている。参加者間で交流もあり。

- 専門家の助言による**安心感の獲得。**

保育士や助産師等を講師に迎え、子育てをする親への学びと相談機会提供をすることができる。

③得られた成果

- アウトプット：出力 ※活動回数や参加人数
- アウトカム：成果 ※社会に与えた影響

年間目標達成度 **順調!**
・会議9回のところ5回実施。
・イベント5回のところ3回実施。

② 子育て活動

- 高校生が地域づくりに関心を持ち始めている。
地域のおとなや大学生とのかかわりを通じ、
できることを自ら行動に移している。
- 受援者の中から進学・就職先でも地域や後輩
に関わるしくみづくりを目指し、積極的に関
わる人材が生み出されている。

④残された課題とその原因



- 適切な場作りと必要な情報及び資材提供。
- 管理者側で状況把握と随時の改善策提案。
- 負担軽減のためにもディレクションの重要性が高まっている。
- 心理的安全性の確保。



- 団体連携の強化
- 既存資源の整理と効率的な運用
- 人材(組織)の思考や行動のクセを整理

	マインドセット	スキルセット	アセット
起案者	パッション 打たれ強く素直 ビビらない	行動量と傾聴力 論理的思考 リスキル(顧客志向他)	社内情報 同僚 過去事例
事務局	起案者をリスペクト インプットし続ける メンタリング/ コーチング/ティーチング	場づくり 事業化フレーム&ステップ 内外事業の引き出し	起案者 決裁者 会社